

放課後等デイサービス「キッズすてっぷさせぼ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和 3年 10月

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に見合った広さではありますが、活動の内容に応じては、パーテーションなど豊富にあると、必要なスペースの確保ができると感じます。 ・いまある建物の中で、できる工夫をしながら支援をしていく事は必要と感じています。
	2 職員の配置数は適切であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・配置はしっかりととれていますが、活動の内容によっては、もう少しゆとりのある人員が必要と感じる事もあり、人員確保は今後も課題です。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・階段がある所もある為、身体障がい者の方への配慮は必要です。滑り止めなどの工夫をしています。 ・室内においてはなるべく段差などないようにしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の内容に関しては、スタッフ間で振り返りながら、支援の内容や方法などを修正していくようにしています。 ・業務内容なども打ち合わせの場で振り返りながら、修正できるようにしています。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意向などはしっかりと受け止め、上司にも報告をしていき、改善に繋げていけたらと感じています。
	6 この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・この機会を、スタッフの中でも振り返る場面としていけたらと思います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、OT、ST、社労士さんの訪問もあり、意見などを頂く機会もありましたが、コロナ禍が続き、外部評価などを頂く機会は殆どありませんでした。 ・第三者による外部評価といった点は、事業所で共通認識ができると良いと思います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、ズーム研修が主となっていましたが、参加できる研修は、参加させて頂きながら、学べる機会を作っており、その研修の報告をスタッフへと伝達しながら、共通認識できるようにしています。 ・事業所内においては、議題をあげて、スタッフ間の資質の向上に繋げていけるようにしています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズや事業所間での課題などをすり合わせていきながら、個別支援計画を作成していけるように心がけています。

適切な支援提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・実態把握や行動観察が主となっていますが、標準化されたアセスメントツールも活用していけるようにしていきたいです。こういったアセスメントツールがあるか、調べていけたらと思います。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・担当スタッフを主に、皆の意見を取り入れながら活動プログラムを作成しています。 ・計画的に実行できるように、主に週案を取り入れています。
12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	・グループ活動は、主に担当者を決めて、チームで立案できるようにしています。活動のプログラムが固定化されない為でもあります。チームとしての協調性や信頼関係などを作っていく為でもあるため、今後も、スタッフ間で相談しながら、活動の決定や工夫をしていけたらと感じています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・平日においては集団活動をメインに、学校が休みの時には、お楽しみ的な行事や、個別支援も取り入れています。長期休暇においても、色々な活動の提案ができるようにしていけたらと思っています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	・状況に応じて取り組めるようにしています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・朝礼、昼礼をメインにしっかりと打ち合わせができるようにしています。当日休みのスタッフにも伝わるように、業務日誌に記入をして内容を記すようにしています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・支援終了後においては、大まかな内容のみの報告として翌日しっかりと伝達を行うようにしています。振り返りを行う事で、支援の方向性の共通認識などを行っていきたいと思います。
17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・記録においては、働きかけた内容なども含めて記録できるように、今後は現在より詳しく記入していく予定にしています。
18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	・必要な時期にモニタリングを行い、個別支援の作成の見直しをしています。必要に応じてモニタリングの時期など見直しをしながら、個別支援計画に繋げていけたらと思います。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	・活動内容などは随時考えていながら、コミュニケーション力、葛藤を調整する力、主張する力、折り合いをつける力などが経験できるようにしています。

関係機関や保護者との連携

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・スタッフの資質の向上の面から、ある程度経験のあるスタッフが参加できる状況になってくると良いと感じます。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・学校によっては、毎月、下校時刻の変更や行事などのお知らせをFAXして頂いており、事業所側も把握しやすい状況で大変ありがたく感じています。 ・子どもさんの様子などにおいては今後連携をどのようにとっていくかは課題です。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・現在対象者はおられませんが、必要に応じて主治医との連携体制などを整えていきたいと考えています。また、対象児童の方がおられる事業所と連携をとり、どのような事が必要かなど連絡がとりやすい繋がりと良いと感じます。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・繋げていく支援としては今後も連携は必要に感じます。しかし、実際に話し合う場を作るまでの大変さもある為、そういった時に誰が進めていくかという役割がある程度決まっていると良いと感じます。
24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・上記の様に連携の必要さは感じます。就労支援サービス事業所へ移行する場合は、放課後等デイサービスの事業所も率先して、就労先に連絡をとるなど積極的なアプローチは必要に感じます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	・発達センターのドクターや専門的なセラピストからのアドバイスを聞く機会はとても重要に感じますが、現在は殆ど機会がないのが実情です。 ・こども部会からの発信には、今後も参加していきながら、横の連携をとりつつ、資質の向上にも繋げていきたいと思えます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	・昨年度は予定を立てるところまで行いましたが、コロナ禍となり、実行は難しい状況です。子ども同士の交流の中で、障害のある子どもさんへの周囲からの理解は、今後、社会生活にでてからも大切となってくる為、交流の機会は今後、コロナ禍の様子を見ながら、検討していけたらと感じます。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	・佐世保市にこういった自立支援協議会があるか、スタッフの中で周知しながら、知っていく事がまずは必要に思います。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・送迎の時にお会いできた時に、できる範囲でお伝えするようにはしています。また、モニタリングなどの機会にしっかりと子どもさんの様子の共有をできるようにしています。 ・十分に時間をもっているかといった点では課題ではありますので、保護者様のニーズに合わせてどのような方法で共通理解をしていくかは課題であります。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・ペアトレに関する研修へ参加できると良いです。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・通所を始められる前には必ずご説明をするようにしています。変更などがあった場合、どのようにお伝えしていくかは、課題です。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・じっくりと話を聞く場を作っていない為、コロナ禍の状況で、今後どのような形で相談場所を設定していくかは課題です。また、お会いした時に、話をお聞きした時には、保護者様の悩みを一緒に解決していける事業所にしていけたらと感じます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・今後どのような形で実施していくのかは課題です。気軽にお茶会のような場が良いか、イベントなどの開催を検討していった方が良いかなど、今後においての方法展開は検討していく必要はあります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・すぐに対応するように心がけています。安心してご利用して頂けるように、しっかりと説明をしていきながら、継続した支援に繋げていけると良いと日々感じます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・活動の様子など分かりやすいように、おたよりや、ブログを通して、発信しています。引き続き、戸外、室内においての様子など今後ご利用して頂いている方にお伝えしていけたらと思います。
	35	個人情報に十分配慮しているか	・従業員においては、秘密保持等に係る従業員の誓約書を結んでいます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、視覚的に分かりやすいようにしています。また、メモにて伝達事項など残すようにしています。 ・また、聴覚に障害のある子どもさんに対して、手話や、マカトン法などの手法をスタッフの中でも周知していけるようになるの良いです
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・今後の課題です。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	・マニュアルなどはファイルにして、全員が周知できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・年に2回程、火や煙があがった設定の中で避難する練習をしています。時には消防の方に来ていただき、火災についての話を聞ける場面を作っています。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<ul style="list-style-type: none"> 外部での研修は順番に受けるようにしています。研修後は他のスタッフにも伝達する場面を作っており、全員で認識できるようにしています。事業所内においても、虐待防止に関する議題をあげて、全員で周知する機会を作っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	<ul style="list-style-type: none"> 現在対象の方はおられないですが、やむを得ず身体拘束をする場面に必要な事はしっかりと理解しておきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<ul style="list-style-type: none"> 現在は対象の方はおられないです。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> 作成しながら全員で把握できるようにしています。また、事業所内のミーティングにて振り返りの場面を作っていますが、定期的に振り返り、対応を修正していく事は大切に感じます。